

[今日のテーマ]

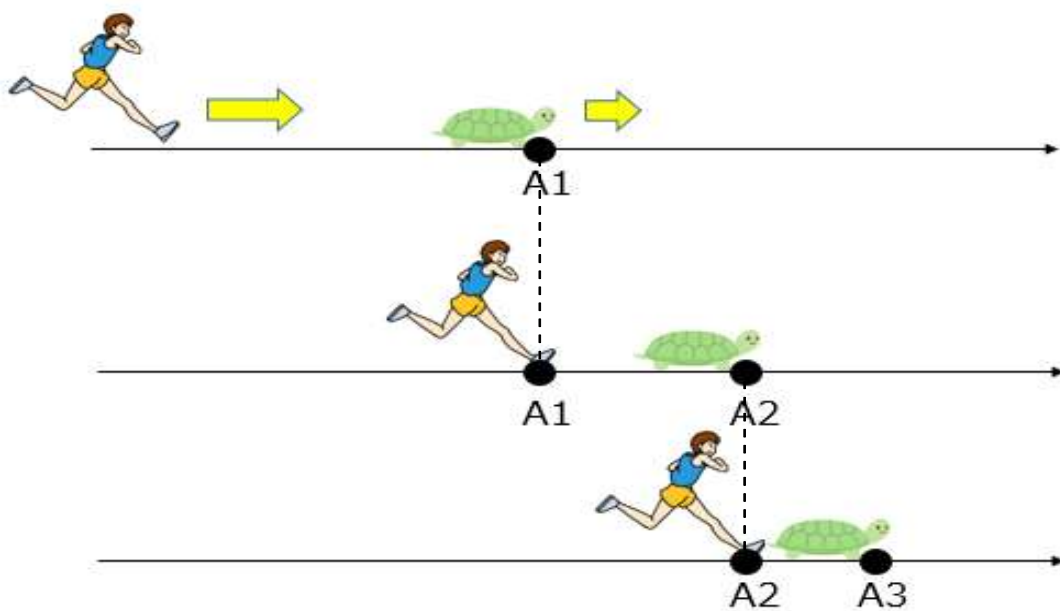
紀元前の言い伝え「アキレスとカメ」から無限の足し算(無限級数)を計算してみよう!

(例) $\frac{1}{2}$ をかけていった数を無限に足す

$$1 + \frac{1}{2} + \frac{1}{4} + \frac{1}{8} + \frac{1}{16} + \frac{1}{32} + \frac{1}{64} + \dots = \boxed{?}$$

アキレスとカメ

「かけ足の選手アキレスがカメに追いつこうとして走っている。カメの出発点にアキレスが来たとき、カメは少し先へ動いている。さらにその位置までアキレスが来たとき、カメはまた少し先へ動いている。」



問題：アキレスはカメに永久に追いつくことが出来ないか？

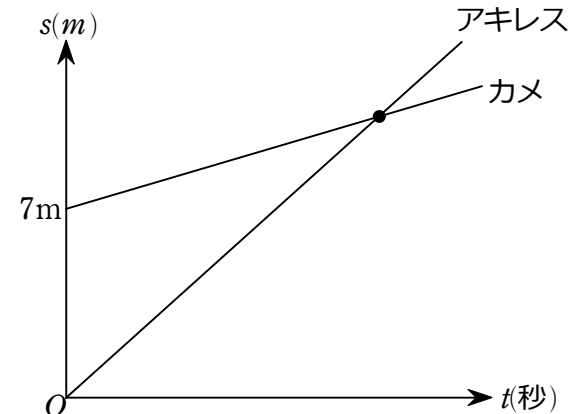
[問題] アキレスが秒速 1m , カメが秒速 0.1m で進むとし、もともとカメは 7m 先にいたとする。

アキレスのスタート地点の何 m 先で追いつくことができるか？

横に時間 t (秒)をとり、縦に距離 s (m)をとるとアキレスとカメは以下のような1次関数で表せる。

アキレス $s = t$...①

カメ $s = 0.1t + 7$...②



[1],[2]の2通りで追いつくまでの距離を求めてみよう!

[1] を埋めながら①, ②の連立方程式を解いて, s を求めてみよう!

①, ②より $s = \boxed{}s + \boxed{}$

$(1 - \boxed{})s = \boxed{}$

$$s = \frac{\boxed{}}{1 - \boxed{}} = \frac{\boxed{}}{\boxed{}} \text{ (秒後)}$$

[2] を埋めながら, s を求めてみよう!

最初はカメが m 先にいる。

アキレスがカメの初めの位置に来るのは 秒後だからカメは m 進む

2番目の位置に来るのは 秒後だからカメは m 進む

3番目の位置に来るのは 秒後だからカメは m 進む

これを繰り返すとアキレスが追いつくまでの距離 s は

$$s = \boxed{} + \boxed{} + \boxed{} + \boxed{} + \dots \text{ (秒後)}$$

[1], [2]より

$$\square + \square + \square + \square + \dots = \frac{\square}{1 - \square}$$

無限の足し算の公式がこれで完成です!

無限の足し算の公式♪

(r が -1 より大きくて、 1 より小さいとき)

$$a + (a \times r) + (a \times r \times r) + (a \times r \times r \times r) + \dots = \frac{\square}{\square}$$

補足 高校での公式は

[無限等比級数の公式]

初項 a , 公比 r の無限等比級数は $|r| < 1$ のとき収束し、その和は

$$\sum_{k=1}^{\infty} ar^{k-1} = \frac{a}{1-r}$$

です!難しいよね。あと3年後高校生になって勉強する人がこの中にもいるでしょうね。

(例) $1 + \frac{1}{2} + \frac{1}{4} + \frac{1}{8} + \frac{1}{16} + \frac{1}{32} + \frac{1}{64} + \dots$ を計算してみよう!

無限の足し算にチャレンジ!

[問題] 次の無限の足し算をしてみよう!

(1) $\frac{1}{2} + \frac{1}{4} + \frac{1}{8} + \frac{1}{16} + \dots$

(2) $6 + 2 + \frac{2}{3} + \frac{2}{9} + \dots$

